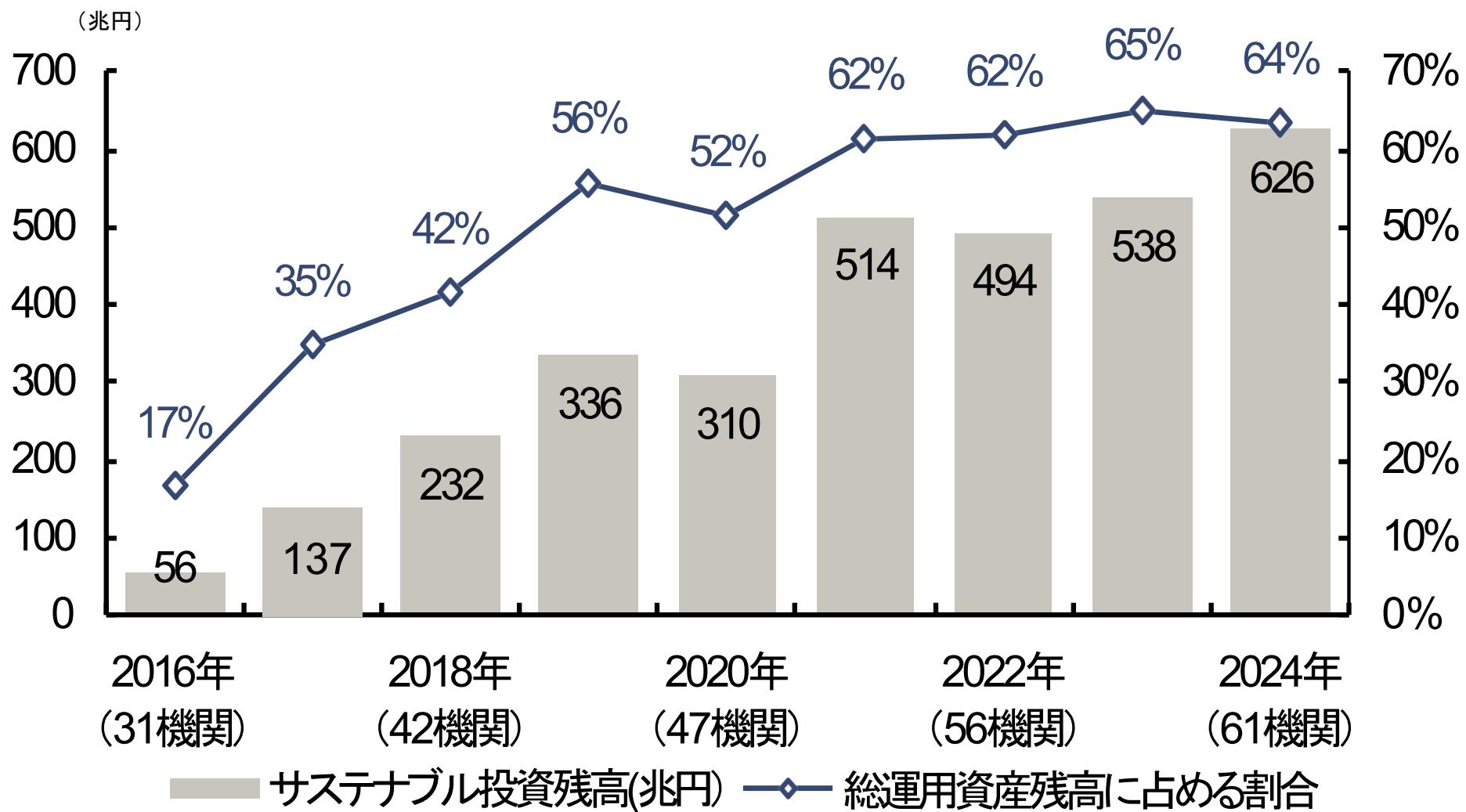
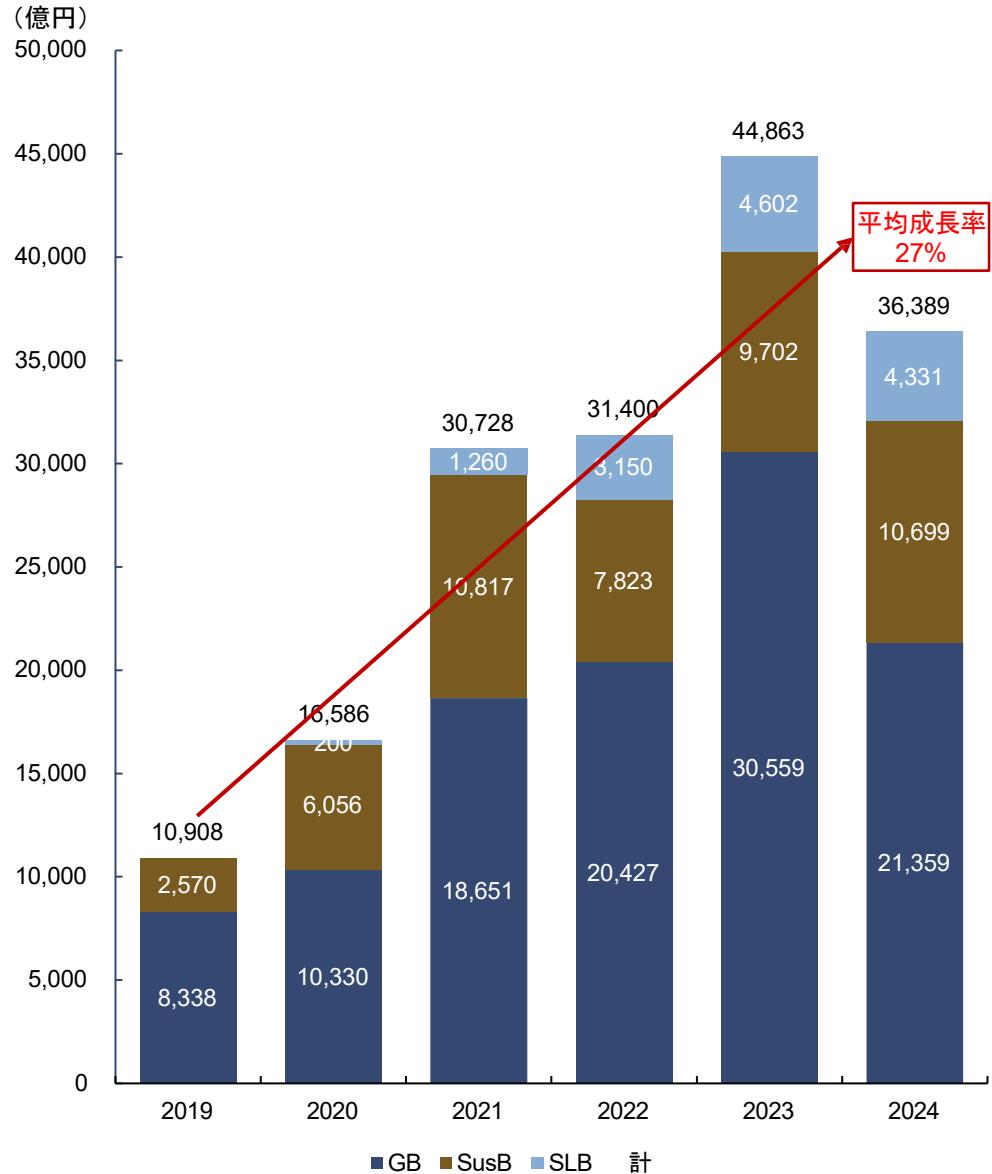


## サステナブル投資残高及び総運用資産残高に占める割合



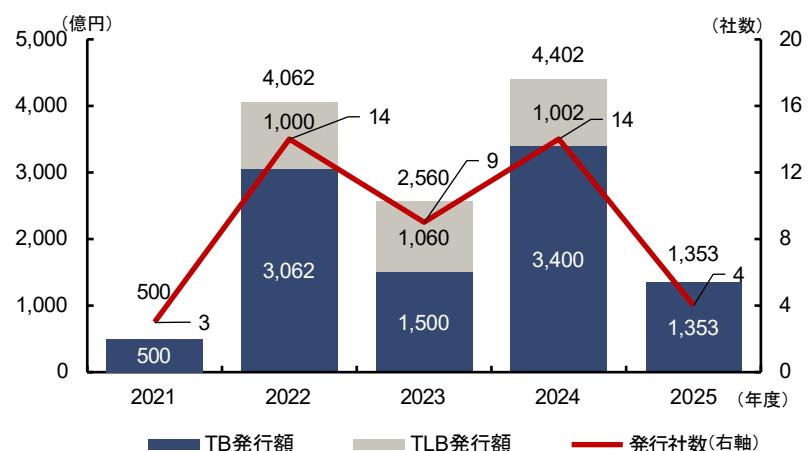
注：いずれも3月末時点、横軸()内はアンケート回答機関投資家数

# 国内ESG債(GB/SusB/SLB)発行額推移



# 国内トランジション/トランジション・リンク・ボンド及びGX経済移行債発行状況

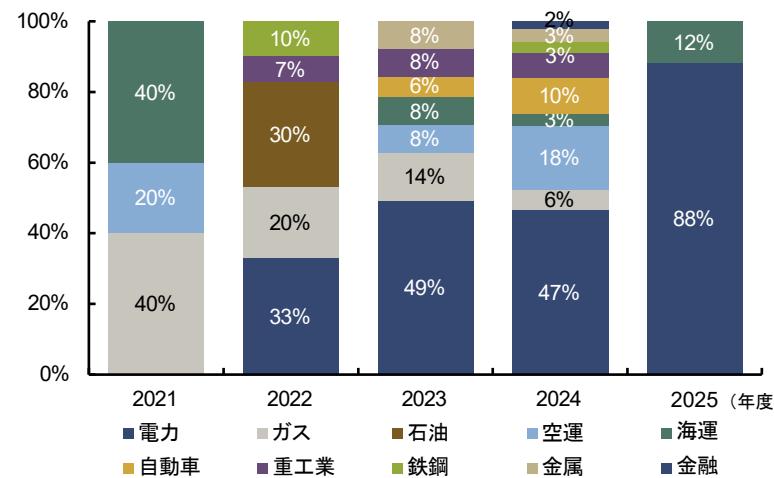
## TB及びTLB 発行額及び発行社数



## GX経済移行債発行状況

発行体	入札日	年限	発行額 (億円)	利率 (%)
日本国 <sup>*1</sup> (クライメート・トランジション利付国債)	2024/2/14	10Y	7,995	0.700
	2024/2/27	5Y	7,998	0.300
	2024/5/28	10Y	3,496	1.000
	2024/7/18	5Y	3,496	0.500
	2024/10/22	10Y	3,500	1.000
	2025/1/29	10Y	3,498	0.500

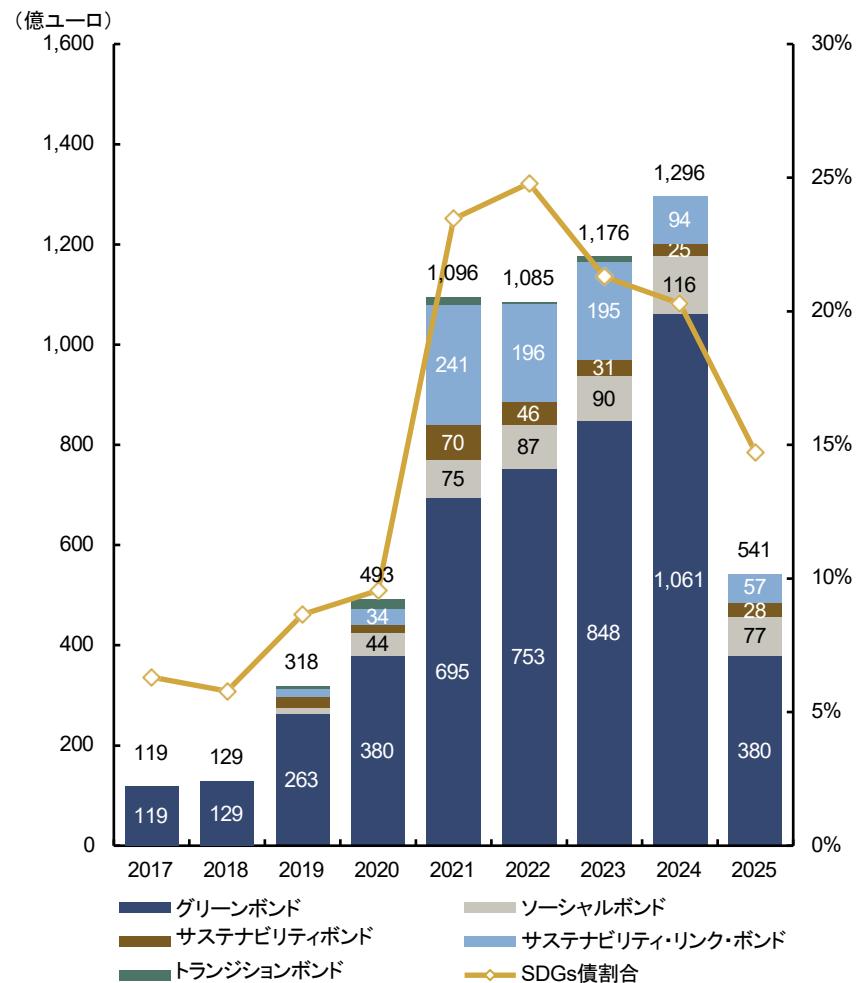
## TB及びTLB セクター別発行割合(発行額ベース)



# ESG債発行市場動向(ユーロ・ドル建)

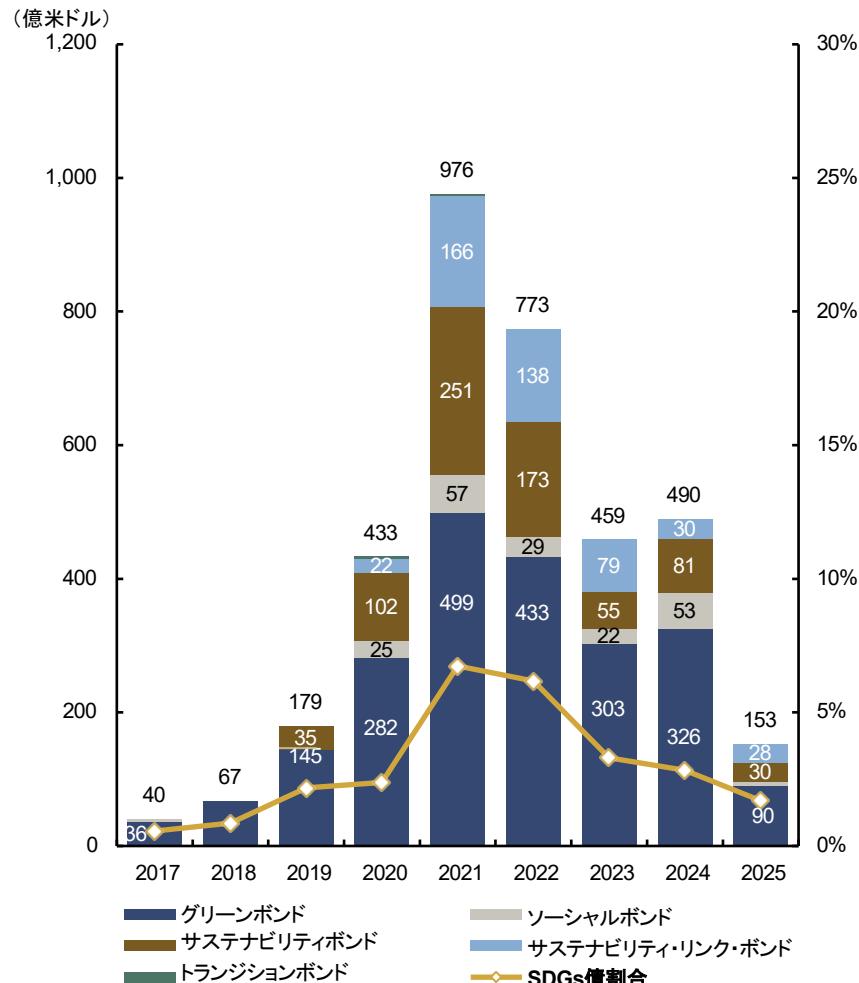
## ユーロ建SDGs債種別発行額推移(2017年度以降)

発行額は増加傾向にある一方、社債全体に占める割合は2023年以降減少



## ドル建SDGs債種別発行額推移(2017年度以降)

2021年をピークにSDGs債の発行額は減少傾向

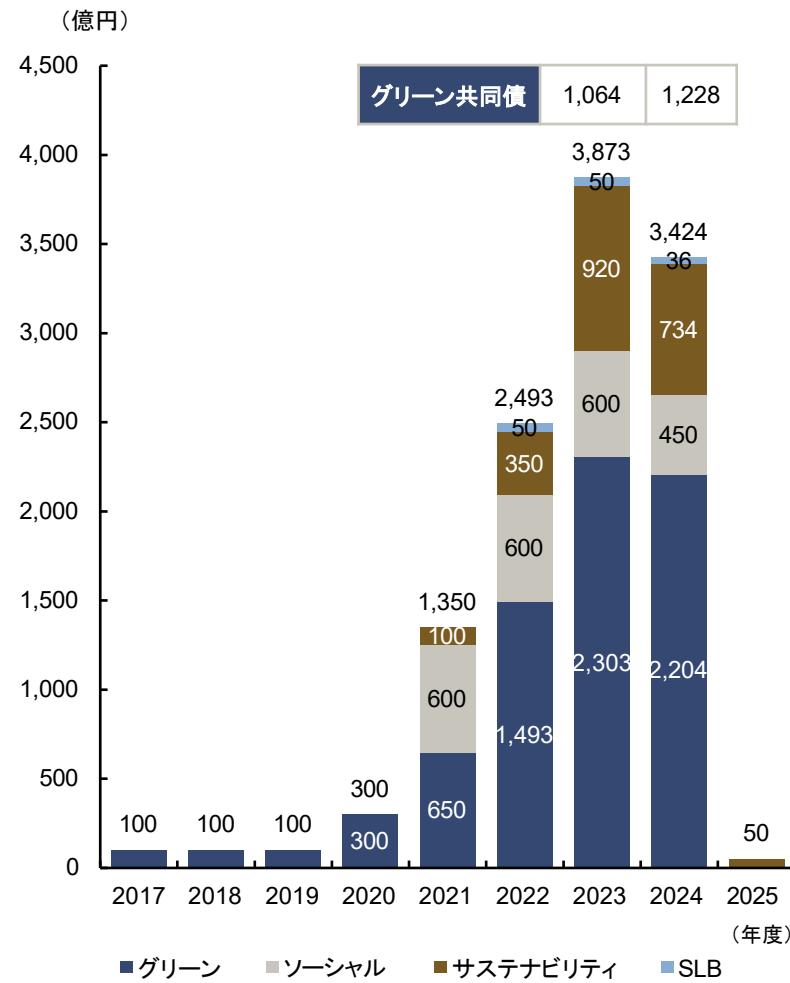


注：SDGs債=グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド、トランジションボンド  
※SSA、ハイイールド、カバードボンド除く

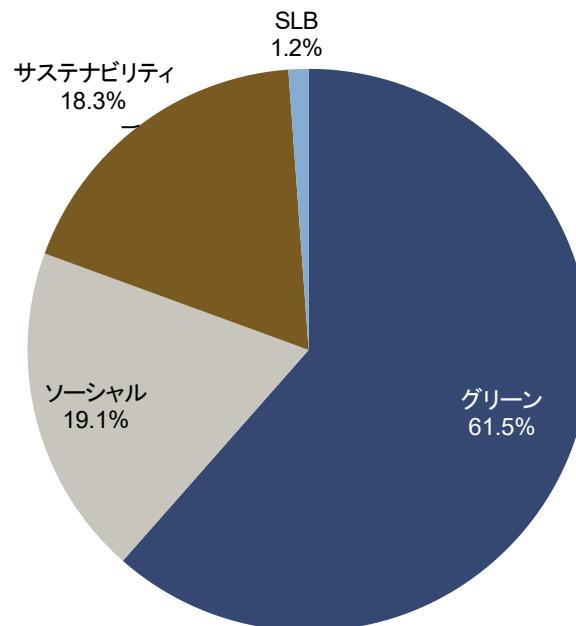
出所：BloombergをもとにSMBC日興証券作成、2025年6月2日時点

# 市場公募地方債(個別債及び共同債)形式によるSDGs債発行市場動向

自治体SDGs債種類別発行額



自治体SDGs債種類別発行割合(2017年度以降)



# 市場公募地方債(個別債)形式によるSDGs債発行団体一覧

順番	自治体	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
1	東京都	GB	100	GB	100	GB	100	GB	200	Soc/GB	900	Soc/GB	900	Soc/GB	1,000	Soc/GB	450/100
2	長野県							GB	50	GB	100	GB	128	GB	130	GB	144
3	神奈川県							GB	50	GB	100	GB	110	GB	100	GB	100
4	川崎市									GB	50	GB	100	GB	100	GB	80
5	北九州市									SusB	100	SusB	100	SusB	100	SusB	79
6	福岡市									GB	50	GB	90	GB	80	GB	100
7	三重県									GB	50	GB	65	GB	75	GB	77
8	滋賀県										SLB	50	SLB	50	SLB	36	
9	埼玉県									SusB	150	SusB	290	SusB	300		
10	仙台市										GB	50	GB	38	GB	45	
11	兵庫県										GB	200	GB	260	GB	215	
12	静岡県										GB	50	GB	100	GB	100	
13	大阪府										GB	50	GB	50	GB	50	
14	愛知県										GB	100	GB	100	GB	125	
15	京都市										GB	50	GB	70	GB	60	
16	横浜市										SusB	100	SusB	130	SusB	80	
17	大阪市										GB	50	GB	50	GB	80	
18	相模原市										GB	50	GB	50	GB	39	
19	広島県										GB	50	GB	50	GB	40	
20	高知県										GB	50	GB	50	GB	50	
21	福岡県											GB	200	GB	200		
22	群馬県											GB	100	GB	150		
23	岩手県											GB	50	GB	50		
24	千葉市											Sus/GB	80	GB/BB	50/35		
25	千葉県											SusB	150	SusB	150		
26	徳島県											SusB	50	SusB	45		
27	宮城県											SusB	100	SusB	100		
28	福井県											GB	50	GB	100		
29	秋田県											GB	70	GB	70		
30	熊本市											GB	50	GB	25		
31	石川県											GB	50	GB	50		
32	札幌市											SusB	50	GB	70		
発行総額		100		100		100		300		1,350		2,493		3,873		3,424	
発行済み 自治体数		1		1		1		3		7		20		32		32	

単位: 発行額は億円  
※GB: グリーンボンド、BB: ブルーボンド、SocB: ソーシャルボンド、SusB: サステナビリティボンド、SLB: サステナビリティ・リンク・ボンド

# りそなアセットマネジメントのESG債の投資方針

## SaitamaDGs が目指していくもの

SaitamaDGsを通じて、持続可能な社会の実現へ。

当ファンドは、「埼玉×SDGs」=地元地域への貢献とともに、

環境や社会へも貢献していくことをコンセプトとしています。

そして、投資家のみなさまに、

「SaitamaDGs」を通じて、持続可能な社会づくりへの参画をご実感いただくとともに、

人生100年時代に備える資産形成の一助となるファンドを目指しています。

## 埼玉 × SDGs = SaitamaDGs

は以下の3つのことを同時に目指すファンドです



# インパクト投資における対話・エンゲージメントによる企業活動の後押し

長期投資を通じて目的とするリターンの獲得とインパクトの創出を実現していくために、投資先企業との対話・エンゲージメントを通じて、インパクトを生み出す事業活動を後押ししていくことも重要です。

インパクト投資家は、企業を単にリターンを獲得する手段としてみているのではなく、インパクトを生み出す存在ととらえ、企業の活動が社会にもたらす価値に着目します。こうした考え方では、投資先企業の企業理念や存在意義、パーカスなどとも親和的です。企業と同じ目標で、同じゴールを目指して、伴走する投資家であることは、企業と建設的な対話・エンゲージメントを行う上で非常に重要となります。インパクト投資家として投資を行うなかで、他の一般株主とは異なる投資姿勢を持った投資家として企業側

から認識されることによって、良好な信頼関係の構築や有意義な対話・エンゲージメントにつなげていくことが可能になると考えています。

